

思想運動 1053号 2020年6月1日号

目次

1面

安倍政権打倒がコロナ問題解決の道

二瓶久勝（壊憲NO！ 96条改悪反対連絡会議共同代表）

5・15緊急街頭行動での発言から

「金儲け第一主義」を許さない！

村上理恵子

2面

HOWS 2020年度前期講座がスタート

金校長、ウリハッキョの意義と思想を熱弁

編集部

壊憲NO！ 96条改悪反対連絡会議が緊急街頭行動

創意と工夫こらし抗議行動を続けよう

友田幸枝

コロナ禍で仕事失う外国人労働者たち

「ジャパン・リスク」がありすぎる

指宿昭一（弁護士）

3面

《2020年夏季釀金アピール》

「アベノリスク」除去に起ち上がれ！

“コロナ禍に委縮せず声をあげよう！”

〈活動家集団 思想運動〉 常任運営委員会

コロナ危機に労働組合はどう立ち向かうべきか

闘うことで個人タクシー協働組合の争議が勝利！

須田光照（全国一般東京東部労働組合書記長）

イラスト通信

コロナ危機下でフリーランスが生きていくには

広浜綾子

4面～5面

コロナ歌

——パンデミック恐慌下のSNSに瀰漫する「狂歌」十二選

安里ミゲル

労働者通信

コロナ危機下の労働・生活の現場より

演劇

演劇に対する支援のあり方とは

杉浦久幸（劇作家）

スーパー

「労働者こそ社会の主人公」を確信

岡本千代美（パート労働者）

トピック・TOPIC

「無償化を求める連絡会・大阪」が火曜行動を再開

横道昭子

5・15 沖縄・日本復帰を問う

—沖縄軍事要塞化を許さない

大館まゆみ

HOWS通信

5/16 80年光州民主化運動40年、そして韓国総選挙

講師＝李泳采

トリチウム汚染水の海洋放出反対を訴える

反対の署名運動を展開中、ぜひ協力を！

角田政志（福島県平和フォーラム代表）

放射能汚染と向かい合うための基礎知識（23）

九年前に福島第一原発で起きたこと⑦

今中哲二（京都大学複合原子力科学研究所研究員）

コロナ感染から関生役員2人の命を救え

5月18日から京都地裁前で緊急行動

稲村 守（かんなま勝手連・しが）

6面

なぜ政府は種苗法改正を進めるのか？

背景にある知財戦略と種子支配の目論見

天笠啓祐（ジャーナリスト・市民バイオテクノロジー情報室代表）

雇用のゆくえとわれわれの闘いの方向

4月1日号「労働運動時評」をうけて

土田宏樹

7面

連載キューバからの便り（3）

キューバのコロナ対策、米国の「封鎖」、軍事侵攻

宮本眞樹子（キューバ・ハバナ在住）

国際短信 世界のいま

〈ベネズエラ〉 軍民の連携で武装侵攻を阻止

編集部

〈キューバ〉 米国はキューバを再度「テロ支援国家」

〈英国〉 コロナ死多発のなかの運輸労働者の闘い

編集部

8面～9面

エッセイ

「空気をよむな！」

パラダイムシフトの時代に向けて

栗津ケン（アート・プロデューサー）

エッセイ

しばらくは、神田かすみで踏ん張ろう

神田香織（講師）

いま読みたいこの三作（1）

立野正裕（元大学教員）

『エンデュアランス号漂流』（エドワード・ランシング）新潮文庫

『山深き遠野の里の物語せよ』（菊池照雄）梶社

『デルスウ・ウザーラ』（ウラジーミル・アルセーニエフ）平凡社東洋文庫

丸川哲史（明治大学教員、劇団「野戦之月」所属）

『ユートピアの精神』（エーレンスト・ブロッホ）白水社

『まつろわぬ者たちの祭り』（鶴飼哲）インパクト出版会

『魯迅出門』（丸川哲史）インスクリプト

山口直孝（二松学舎大学教員）

『ミヒャエル・コールハースの運命』（クライスト）岩波文庫

『ロシヤ問題』（コンスタンチン・シーモノフ）新世界文学研究会

『声なきバリケード』（ヤン・ドルダ）青銅社

富山栄子（国際交流平和フォーラム）

『遊牧民から見た世界史』（杉山正明）日経ビジネス文庫

『埋もれた金印』（藤間生大）岩波新書

『カムチャッカからアメリカへの旅』（ゲオルグ・ウィルヘルム・ステラー）世界探検

全集4 河出書房新社

在間秀和（弁護士）

『狗賓童子の島』（飯嶋和一）小学館文庫

『幸せになる資本主義』（田端博邦）朝日新聞出版

『モモ』（ミヒャエル・エンデ作・大島かおり訳）岩波少年文庫

中西新太郎（関東学院大学教員）

『オーウェル著作集Ⅰ～Ⅲ』（ジョージ・オーウェル）平凡社

『國體論及び純正社會主義』（北一輝）みすず書房

『感染爆発』（マーク・デイヴィス）紀伊國屋書店

下幸洙（文芸評論家）

『検察官』（ゴーゴリ）岩波文庫

『何をなすべきか』（チェルヌィシエフスキー）岩波文庫

『その日はいつくるか』（ドブロリユーポフ）岩波文庫

中野敏男（社会思想研究）

『資本論 第一巻・下』（マルクス）筑摩書房（今村仁司・三島憲一・鈴木直訳）

『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』（ヴェーバー）岩波文庫（大塚久雄訳）

『詩歌と戦争 白秋と民衆、総力戦への「道」』（中野敏男）NHKブックス

前田朗（東京造形大学教授）

『まつろわぬ者たちの祭り——日本型祝賀資本主義批判』（鵜飼哲）インパクト出版会

『仏教における女性差別を考える——親鸞とジェンダー』（源淳子）あけび書房

『マルクスの思想と理論』（伊藤誠）青土社

松岡慶一（『ありばば雑記帖』発行人）

『ブリューゲル』（土方定一）美術出版社

『カリカチュアの近代—7人のヨーロッパ風刺画家』（石子順）柏書房

『ドーミエ諷刺画の世界』（喜安朗編）岩波文庫

催物案内

前照灯

コロナ禍を抜け出す

10面～11面

四月革命と労働者階級

蔡萬洙（労働社会科学研究所所長）

発刊紹介『国際主義』（創刊第1号）

12面

歴史の真実

『レ・ミゼラブル』を読んで

大木昭三

頂門一針

八時間を我等に

「わたしたちの国は特殊です。」……

何が？ 誰が？

伊地知柊三（地方自治体非常勤職員）

編集部発

付録1面

V - I - レーニン生誕一五〇周年に際しての共産党・労働者党の共同声明

われわれは偉大な指導者V - I - レーニンを称える、われわれはレーニンの活動を引き継ぐことを誓う！

付録2面～4面

HOWS講座報告

党社会主義体制崩壊の意味（上）

ポーランド・ユーゴスラヴィアの具体例に即して

岩田昌征（千葉大学名誉教授）